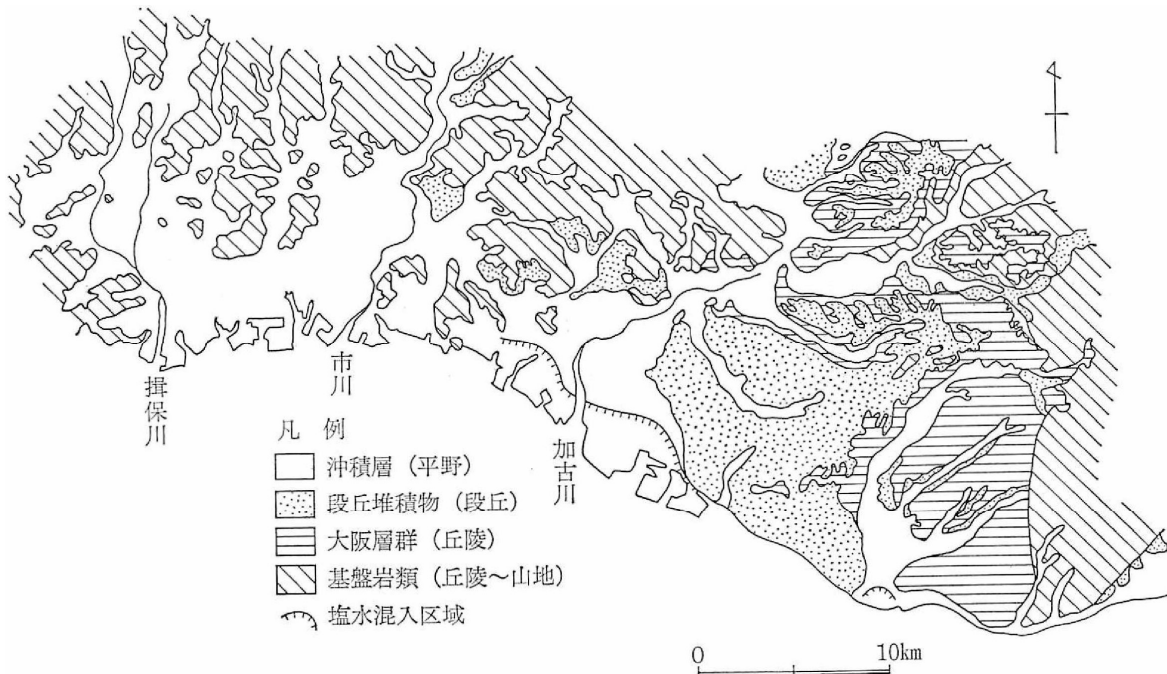


## 地形・地質

東播地域は、東を六甲山地に北および西を加古川とその支流によって境された地域で、丘陵や段丘が発達し、河川沿いや海岸部には中位・低位の段丘がみられます。西播地域は市川沿岸より西の地域を指し、基盤岩の残丘の間に沖積低地が広がります。



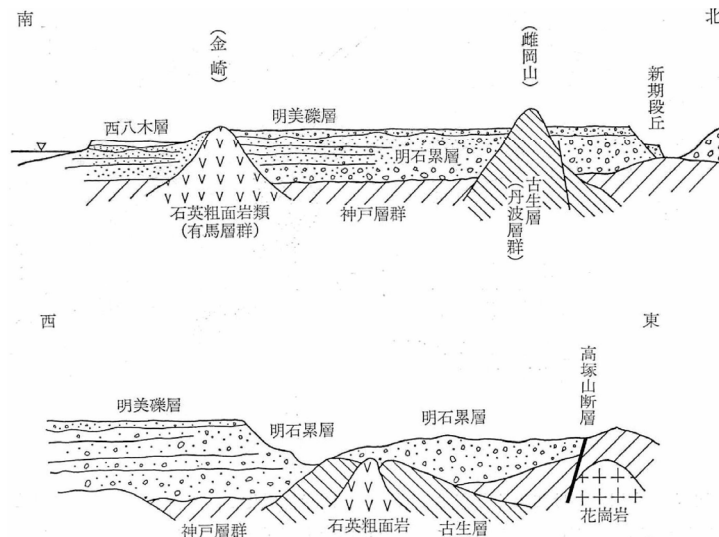
播磨平野の地質概要図

# 地下水

帯水層として、神戸層群、大阪層群、段丘堆積物および沖積層の粗粒部があるが、大阪層群の明石累層以外は優れたものではありません。明石累層は有能な被圧帯水層を形成し、香呂礫層の上位の砂礫層は、不圧地下水の良好な帯水層となっています。

播磨平野の地層層序表

		神吉地域	明美丘陵北部	明美丘陵南部	明石海岸	明石川以東地域		
第四紀	完新世	沖積層						
	更新世	段丘堆積層	段丘礫層			段丘礫層(井出礫層)		
		神吉層	小野礫層		西八木層			
		新期明美礫層	旧期明美礫層			新期明美礫層	旧期明美礫層	
第三紀	鮮新世	明石累層 粘土を主とする 100m+	西条層 30m+	赤坂粘土層40m 山の下砂礫層40m 松陰粘土層5m+	東二見層40m± 屏風浦粘土層40m± 谷八木砂礫層5m± 藤江層10m± 林崎粘土層5m± 砂礫・粘土 100m±	長坂新田層80m+ 大沢粘土層5m± 大蔵谷層30m+ 砂礫を主とする 100m±	上部砂礫層30~40m+ 高塚山粘土層4m± 下部砂礫層30~40m 上部砂礫層10m± 川西粘土層0~10m+ 舞子貝層1~2m± 下部砂礫層10m± 60m±	垂水礫層 100m+
			三木礫層	砂礫・粘土 100m+				
中生代	中新世	神戸層群						
	白亜紀	有馬層群					花崗岩類	
	ジュラ紀~三疊紀	丹波層群						



播磨平野の地質断面模式図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）